

イントロダクション

『フェミニスト経済学』

©李素軒, 市井礼奈, 金井郁, 斎藤悦子, 杉橋やよい, 長田華子, 藤原千沙, 古沢希代子, 山本由美子,  
長田華子・金井郁・古沢希代子編『フェミニスト経済学』有斐閣, 2023年 無断転載を禁じます

# 本日の講義内容

- 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か
- 2 フェミニスト経済学とは何か

# 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か -(1/15)

フェミニスト経済学とは

：フェミニズムの視点から経済学をとらえる学問

→経済社会におけるジェンダーの作用を追究することによって女性、子ども、男性、高齢者など万人を差別や抑圧から解放し、1人1人の権利を保障し、万人のウェルビーイング (well-being)の向上をめざすもの

# 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か -(2/15)

## 2020年、新型コロナウイルス感染症のパンデミック

- コロナ禍は、世界で共通して、ジェンダーで異なる影響があることに注目が集まる
- 国連グテーレス国連事務総長「女性に対する暴力の防止と救済をCOVID-19に向けた国家規模の応急対応のための計画の重要項目とすること」(2020年4月5日)
- 国連女性機関(UN Women)「女性と女児に対する暴力:陰のパンデミック」声明
- 内閣府「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」設置(2020年9月23日)

# 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か -(3/15)

## <需要側要因>

ロックダウンや営業時間制限で雇用喪失の影響を受けた産業に女性・非正規雇用が集中

ホテル，外食サービス，小売り，芸術とエンターテインメント，  
ビジネスサービス，労働集約型の製造業 (Kabeer et al. [2021])

→休業要請（感染拡大防止のため）

→非正規雇用者の雇い止め，働く時間の大幅な減少と収入低下リスク

# 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か -(4/15)

## <供給側要因>

### I) エssenシャルな接客サービス労働に女性が多く従事している

医療，介護，保育，食品スーパーなど，緊急事態宣言下でも働き続ける必要のあるエssenシャルワーカー＝感染リスクが高い

→ 感染リスクの高い仕事の指標化 (Magda et al. [2021])

①職業の感染率，②仕事上の身体的接近，③労働時間の半分以上を顧客，学生，患者とのやり取りに費やしている，④1カ月に数回以上，公共空間で仕事をする，⑤1カ月に数回以上，顧客の家で仕事をする，⑥家から職場に行かないことが年に数回以上ある

→ 同じ企業の中でも，女性の方が職位が低く，対面接客労働に従事

\*顧客からのハラスメント増加 (UAゼンセン[2020])

# 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か-(5/15)

<供給側要因>

II)ロックダウンやステイホーム政策ではアンペイドワークが女性に偏って増加 (Kabeer et al.[2021])

→ケアなどの増加によって、労働市場で働けなくなる

•休校要請への対応

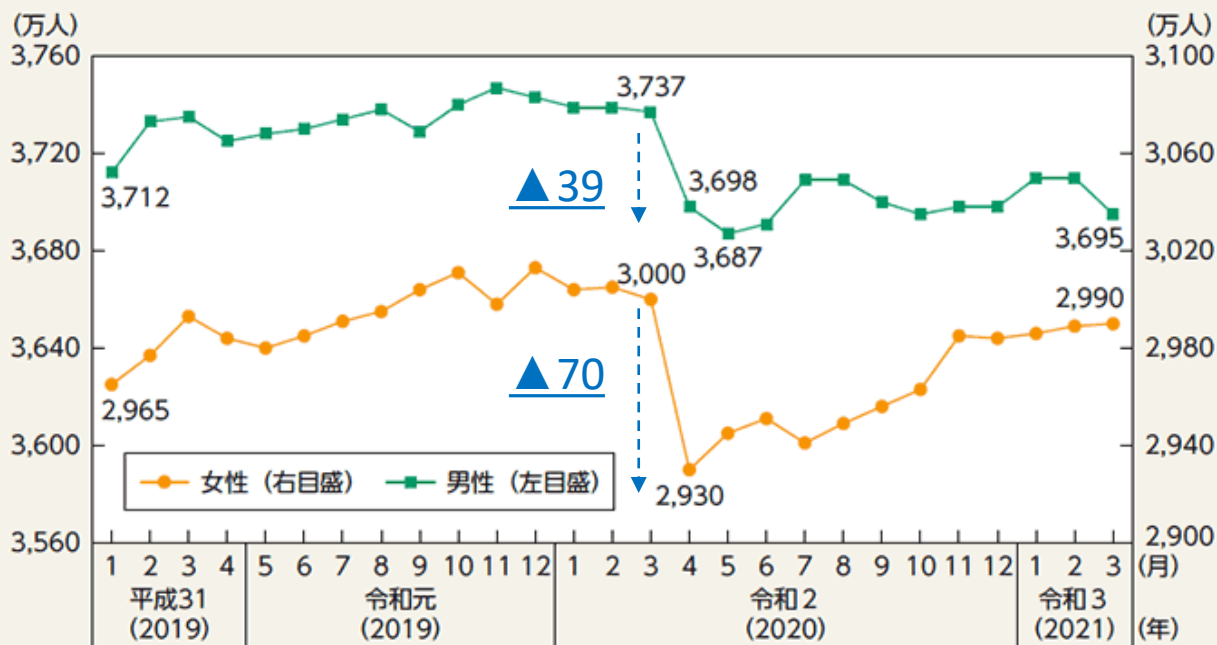
→コロナ禍で働けなくなった(非労働力化した)のは誰か？

→労働時間帯の調整などの問題

# なぜ、いま、フェミニスト経済学か - (6/15)

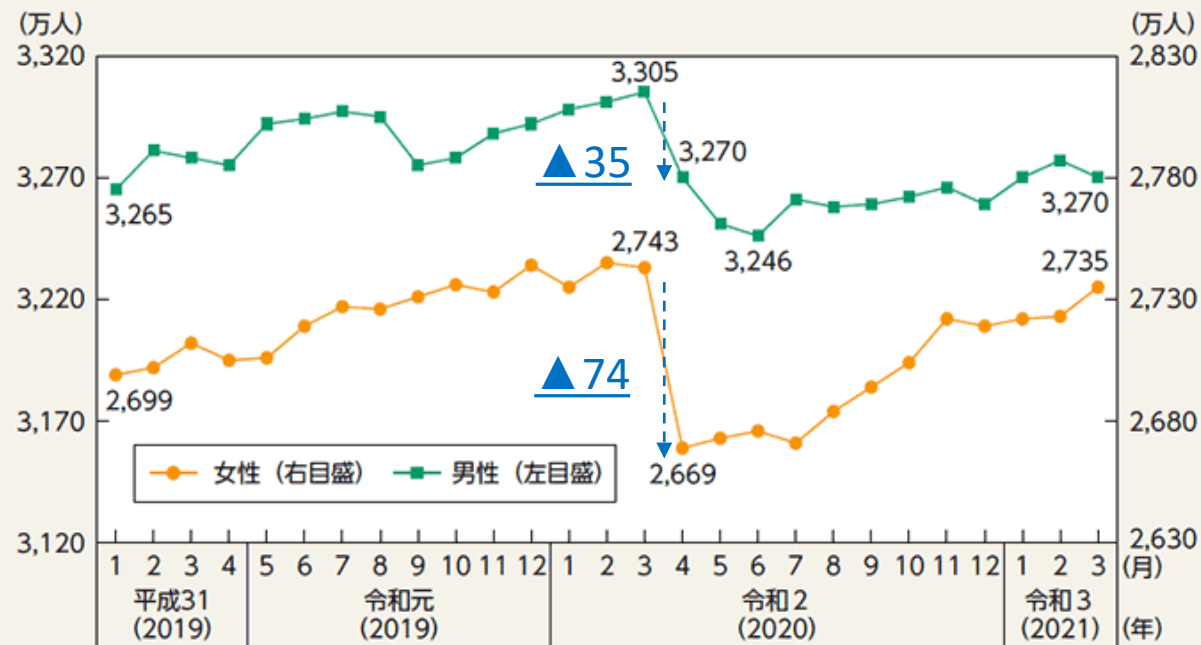
2020年4月の就業者・雇用者数ともに、男性に比べて女性で大きく減少

I-特-1図 就業者数の推移



(備考) 総務省「労働力調査」より作成。季節調整値。

I-特-6図 雇用者数の推移

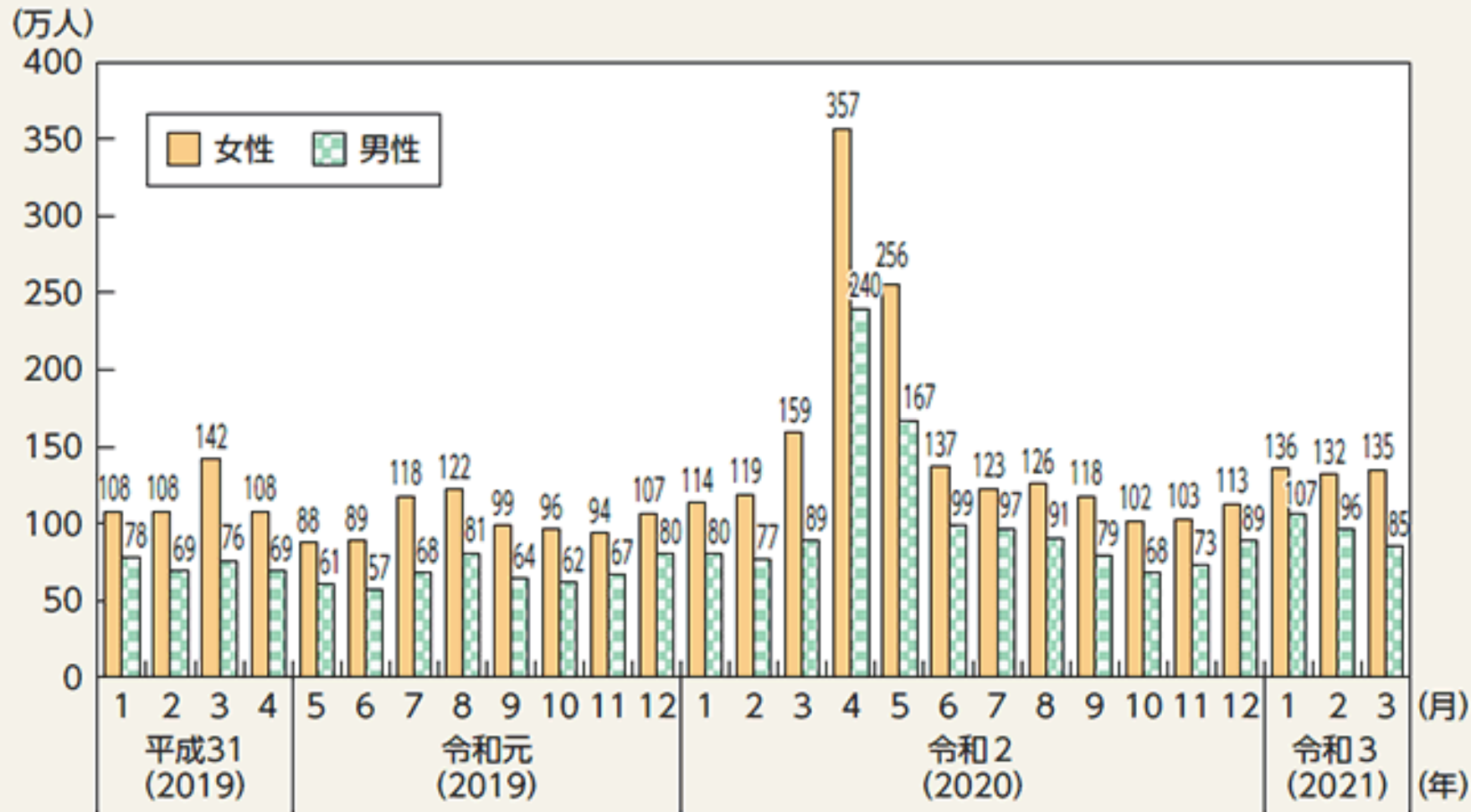


(備考) 総務省「労働力調査」より作成。季節調整値。



# なぜ、いま、フェミニスト経済学か - (7/15)

I-特-5図 休業者数の推移



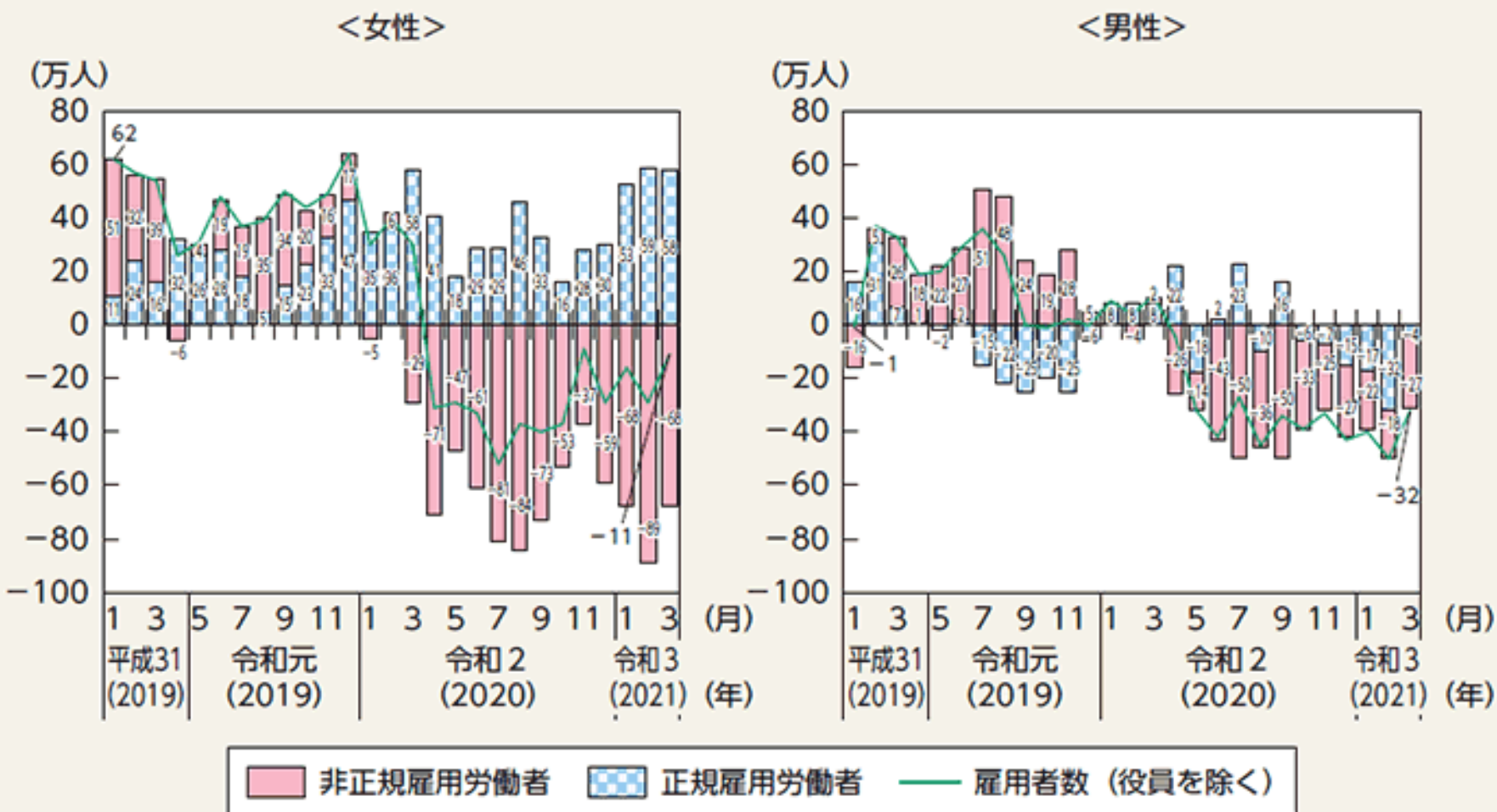
2020年4月の休業者数の増加幅も、男性に比べて女性で大きい

(備考) 総務省「労働力調査」より作成。原数値。

資料出所: 内閣府男女共同参画局[2021]『令和3年度 男女共同参画白書』11頁。

# なぜ、いま、フェミニスト経済学か - (8/15)

I-特-7図 雇用形態別雇用者数の前年同月差の推移



2019年よりも2020年は…

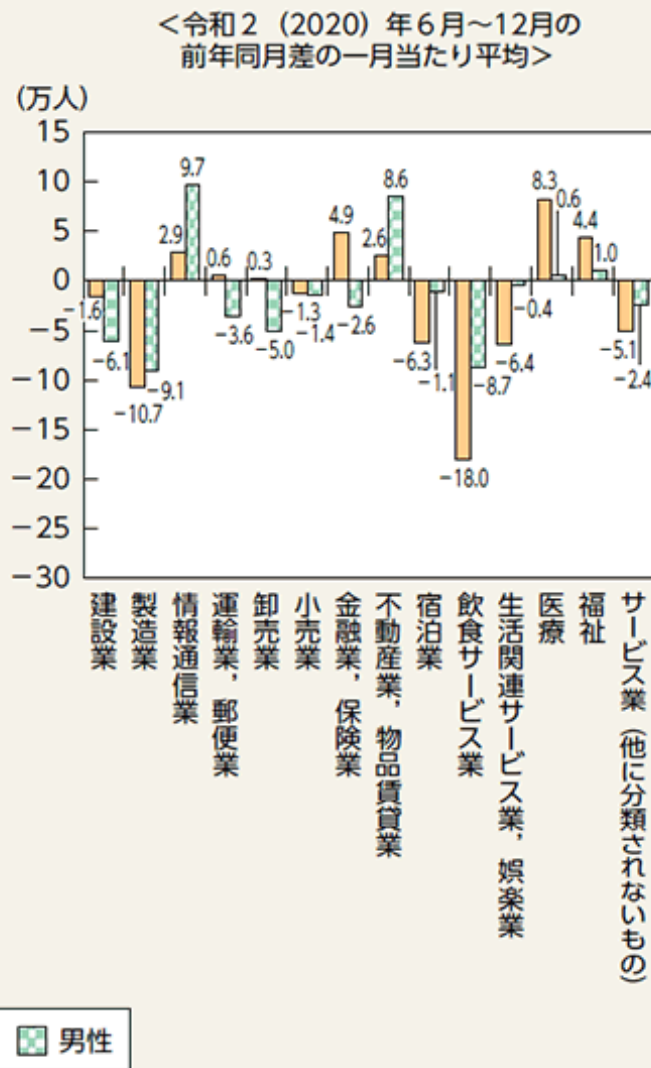
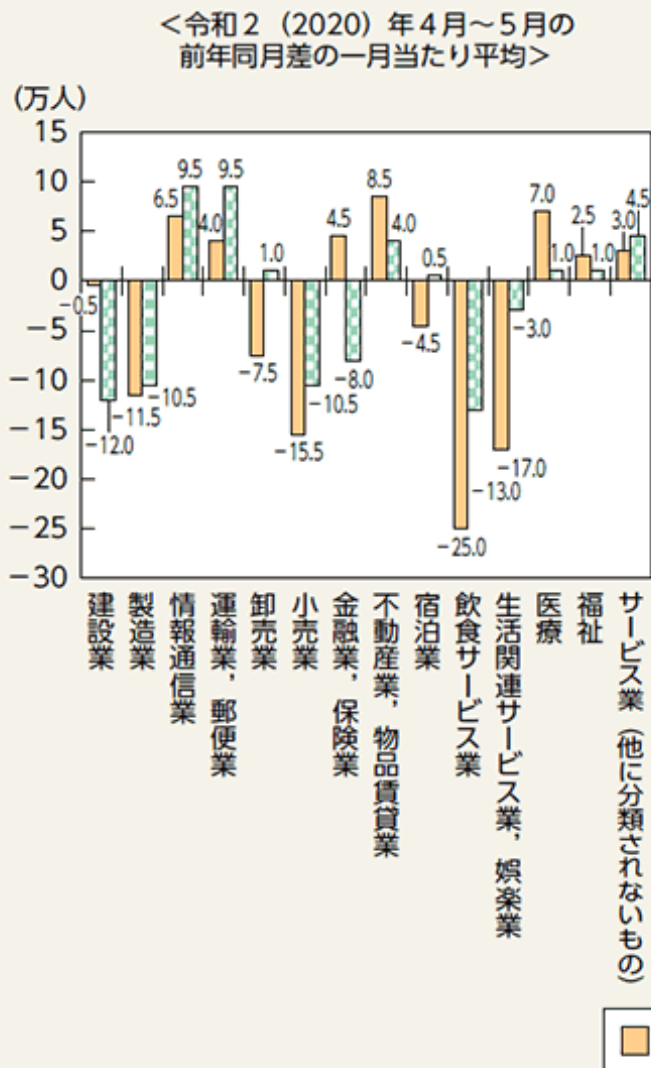
[女性]  
 正規雇用 33万増  
 非正規雇用 50万減

[男性]  
 正規雇用 3万増  
 非正規雇用 26万減

(備考) 1. 総務省「労働力調査」より作成。原数値。  
 2. 雇用者数は役員を除く。

# なぜ、いま、フェミニスト経済学か - (9/15)

I-特-3図 産業別就業者数の前年同月差の推移



## □ 2020年4月緊急事態宣言直後

- ・ 飲食・娯楽業，小売業で特に女性の雇用減少
- ・ 男性も飲食・小売業の他，建設業・製造業で雇用減少

## □ 2020年6月~12月

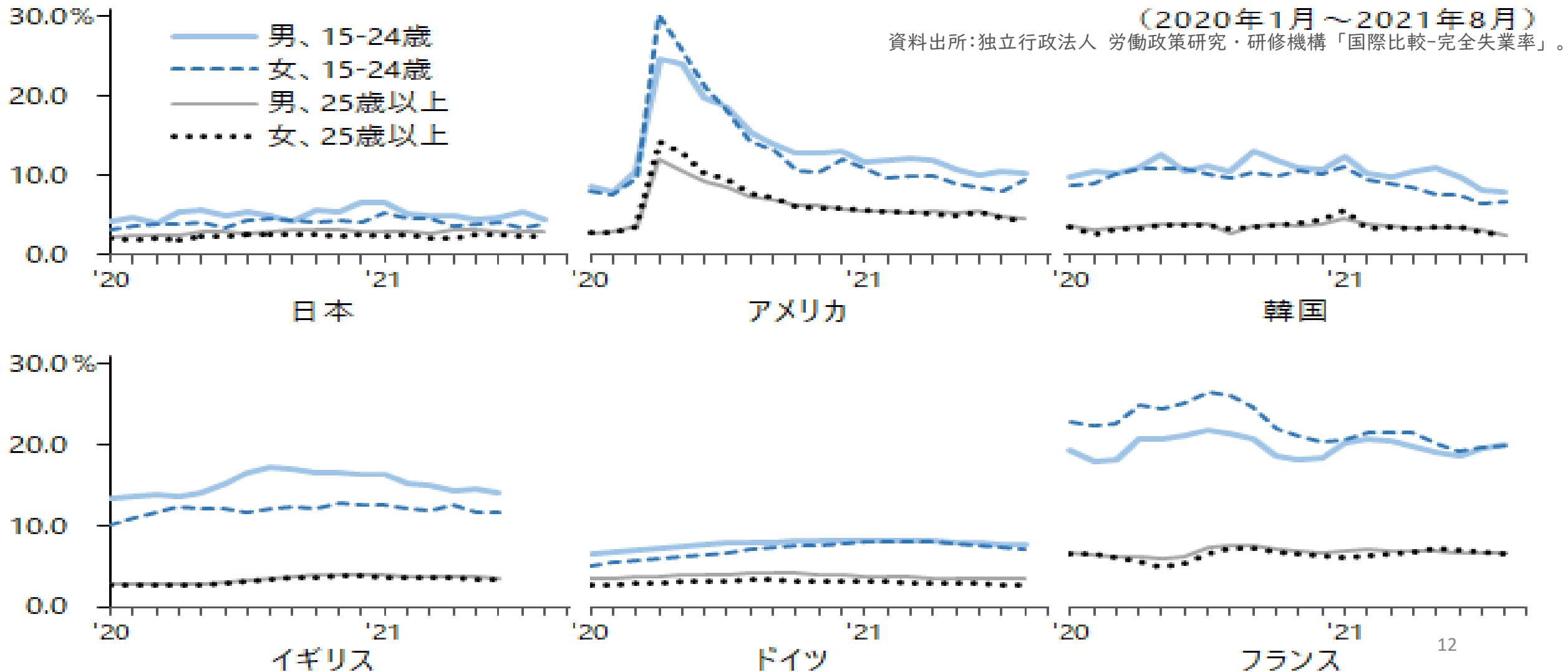
- ・ 女性は飲食・宿泊等サービス業と製造業で減少。医療・福祉は増加
- ・ 男性は飲食業，製造業で減少，情報通信業，不動産業で増加

(備考) 総務省「労働力調査」より作成。原数値。

資料出所: 内閣府男女共同参画局[2021]『令和3年度 男女共同参画白書』10頁。

# なぜ、いま、フェミニスト経済学か - (10/15)

コロナ禍の失業…労働政策や労働市場構造の特徴の違い

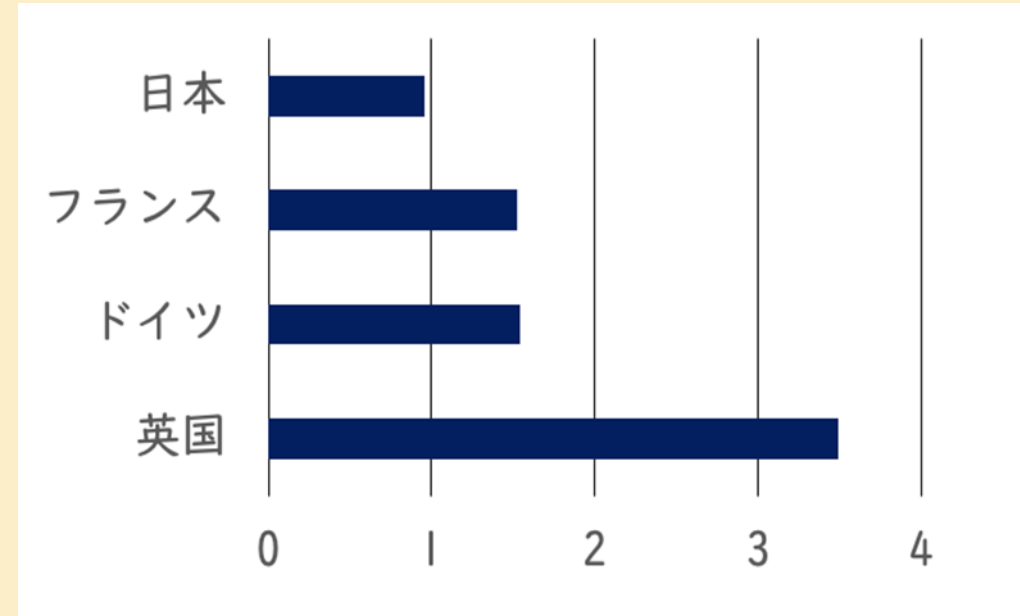


# 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か-(11/15)

エッセンシャルワーカーである看護師の不足が私たちの命や健康を脅かす

主要国の1病床あたりの看護師数

「看護師不足が顕著に コロナ重症対応  
高い技術必要」(『日本経済新聞』2020年12月16日)



注: フランスのみ2021年, 他は2020年。  
出所: OECD.Stat (OECD データベース)

- ✓ 都道府県別に人口比で報告されたコロナによる累積死者数と就業看護師数を見比べると, 看護師が少ない県で死者が多い, という関連が示唆される (大沢[2022])



# 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か - (12/15)

グローバルサウスでのコロナ禍の影響 1:

世界的なアパレル不況 <最大の要因>政府による  
外出自粛要請にともない、衣服の消費が減少

→先進国のアパレル企業は、発注を停止する動きへ



[例] 衣服の輸出世界第2位バングラデシュ

- 先進国企業による注文の解約や原材料、完成品商品の支払い停止→100万人以上の縫製労働者が、解雇や一時解雇の状態に陥る。
- 労働時間や労働日の減少により所得が低下→十分な食事を賄えない労働者が増加→影響は女性に(縫製労働者の約7割は女性)
- コロナ危機に便乗して、妊娠中の労働者を解雇、出産給付の支払いを拒否するなど、既存のジェンダー格差をさらに広げかねない事態の報告もあり (長田[2021])

# 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か - (13/15)

## グローバルサウスでのコロナ禍の影響 2: 移民労働者への影響

仕送りのために先進国等で働く移民労働者にも性別職域分離の影響

- 男性 - 建設業や農業に勤務(←ロックダウンで建設停止や世界的不況による減産等)
- 女性 - ベビーシッターや家事代行サービス(←ロックダウンや、対人接触を減らす動きで仕事が減少、あるいは通いから住み込みになるなど雇い主への依存が増加(アメリカのケース, Rao et al. [2021]))

➤ 本国へ帰国できない(航空便の不足・価格高騰) → 出稼ぎ先で貧困状態  
→ 仕送りが滞る, あるいは減額 → 本国で貧困の増加

➤ 本国へ帰国したとしても, 仕送りがなくなる → 本国で貧困の増加

雇用への影響やDV増加の他, 女性がアンペイドワークの時間を増やして不況を乗り切るなど男女で異なる影響が観察。

# 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か-(14/15)

- 新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響は、ジェンダー、階層、人種、グローバルノース/サウス、職種、産業などで異なる

→従来のジェンダー、階層、人種、グローバルノース/サウス、職種、産業などによる格差がより顕在化

- 人をケアするための政治も経済も脆弱なことがあきらかに
- なぜ今までの「経済学」の分析ではこうした事態に対応できなかったのだろうか？



# 1 なぜ、いま、フェミニスト経済学か - (15/15)

- 国家の経済政策・立法政策・行政の下敷きになる社会科学における人間観（=近代市民社会の人間観）

互いに独立して、自立した人間から社会は構成される  
（経済学では「合理的経済人」）



- こうした人間観を前提に、正義や平等を語り、合理性、効率性が追及



ケアを必要とする人、ケアを必要とする人のケアを担う人が、  
社会の正義や平等、合理性、効率性を議論する際から抜け落ちる

## 2 フェミニスト経済学とは何か

## 2 フェミニスト経済学とは何か -(1/4)

### 人間の特徴

- 依存的な乳幼児期が他の種よりも相当に長く, 脳の発達が長期間にわたる。高齡期にも依存的な期間が生じる可能性がある。



- 人間は, 生まれてから死ぬまでの間に, 他者からケアを受けなければ生存できない期間がある。乳児期と高齡期はその典型。

「依存」は, 万人が経験すること



- 依存状態にある者は, 栄養を与えてくれる誰か, 排泄を処理してくれる誰かという「他者」を必要とする

## 2 フェミニスト経済学とは何か -(2/4)

- 掃除・洗濯・調理といった家事, 育児・介護といったケアなど人間のベーシックニーズを満たす「ケア」が必ず必要になる
- 子どもを産むという再生産も必要



「ケア提供」は, 無償で湧き出てくるものではない



社会がケアを確保・保障する必要

→すべての人にケアの時間を確保し(企業), 質の高いケアを提供し(政府), 世帯や地域のなかでの公平なケアを提供する(世帯・家計, 地域)

## 2 フェミニスト経済学とは何か -(3/4)

フェミニスト経済学とは…

人間のニーズ充足のための、生産・提供・調達・準備・保管である  
プロヴィジョニング(provisioning)のありようを分析する学問

→市場分析だけでは不十分

→世帯・国家による提供, 地域コミュニティにおける commons の  
保全や利用, 自家消費用の食糧生産

\*世帯, 国家, 地域コミュニティ, 市場において, どのように人間の  
ニーズが満たされるのか, 受け手と与えてのジェンダーの偏り, その  
提供に必要とされる労働は有償なのか無償なのかなどに着目して  
分析

## 2 フェミニスト経済学とは何か -(4/4)

- ・ セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）も扱うべき重要なテーマ  
→人間のウェルビーイングと再生産にとって重要な要素
- ・ 人間と環境との相互作用のなかで、人間がどのように生まれ、その健康がどのように維持されるかも、テーマの対象

### フェミニスト経済学は

人間の脆弱性を前提に、人間のニーズを満たす財やサービスの  
プロヴィジョニングを分析することで、  
ケアを中心にすえた経済学を構想

## 【次回の予習】

フェミニスト経済学への招待（第1章）について考えてみよう

Q あなたにとってのウェルビーイング（暮らしぶりの良さ）とは何だろうか？

Q あなたはこれまでに「女性だから」「男性だから」というジェンダーの抑圧を感じたことはあるだろうか？ それはどんな経験だろうか？

Q グローバルサウスとグローバルノースの間での対立関係がみてとれる事例には何があるだろうか？ 新聞やインターネットなどで、探してみよう。